

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年5月21日(2009.5.21)

【公表番号】特表2008-536815(P2008-536815A)

【公表日】平成20年9月11日(2008.9.11)

【年通号数】公開・登録公報2008-036

【出願番号】特願2008-501999(P2008-501999)

【国際特許分類】

C 07 K 16/18 (2006.01)

C 12 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 07 K 16/18 Z N A

C 12 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月25日(2009.3.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0264

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0264】

【図1】図1A～1Cは、IgG1モノクローナル抗体の還元CGE(パネルA)及びSDS-PAGE(パネルB)解析を示す。レーン1は、分子量マーカーであり；レーン2及びレーン3は、還元モノクローナル抗体である。パネルCは、重鎖、軽鎖及び92kDaの架橋種のグラフ図を示す。

【図2】図2は、還元アルキル化されたモノクローナル抗体モタビズマブのサイズ排除クロマトグラムを示す。

【図3】図3A及び3Bは、早期溶出SEC画分(パネルA)、及び分画していないモノクローナル抗体(パネルB)のトリプシンペプチドマッププロフィールを示す。

【図4】図4A及び4Bは、チオエーテル結合連結(パネルA)(m/z 615.6⁺²のイオン)及びジスルフィド結合連結(m/z 631.6⁺²のイオン)(パネルB)をもつL19-L20(SFNRGEC(配列番号:44))及びH19(SCDK(配列番号:43))の架橋ペプチドの断片イオンのMS/MSスペクトル及び割当を示す。注：図の「e」は、Cys上の側鎖切断を指し、アミノ酸骨格をさすものではない。「2」は、SCDK(配列番号:43)ペプチド鎖のCysを指す。「7」は、SFRNGEC(配列番号:44)ペプチド鎖のCysを指す。

【図5】図5A及び5Bは、4(パネルA)にて、及び40(パネルB)にて貯蔵したモノクローナル抗体のFab断片のデコンボリュートした質量スペクトルを示す。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】配列表

【補正方法】変更

【補正の内容】

【配列表】

2008536815000001.app